

学校コード F138110110382

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 研究科等連係課程実施基本組織の設置

注1

事前相談

注2

愛媛大学大学院 医農融合公衆衛生学環

【事前相談】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人愛媛大学
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部評価IR課

職名・氏名 ヒョウカ カチョウ オリタ リュウジ
評価IR課長 織田 隆司

電話番号 089-927-9012

（夜間） 089-927-9012

e-mail hyouka@stu.ehime-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

医農融合公衆衛生学環

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	27

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人愛媛大学

(2) 大学名

愛媛大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒791-0295

愛媛県東温市志津川454

〒790-8566

愛媛県松山市樽味3丁目5番7号

(〒790-8577

愛媛県松山市道後樋又10番13号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ニシナ ヒロシゲ) 仁科 弘重 (令和3年4月)		
理事	(ヤヒロ ヒデノリ) 八尋 秀典 (令和3年4月)		
学環長	(ヤマシタ マサカツ) 山下 政克 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」を確認してください)。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医農融合 公衆衛生学環 修士(公衆衛生学)	医学関係	2 年	5 人	年次 人	10 人		(基礎となる学部等) 医学系研究科 農学研究科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期											
A 入学定員	(-) [-]	1.80倍	-										
志願者数	(-) [-]												
受験者数	(-) [-]												
合格者数	(-) [-]												
B 入学者数	(-) [-]												
入学定員超過率 B/A	-		-		-		-		1.80				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次									9		
									[-]	[-]	
									(-)	(-)	
2年次											
3年次											
4年次											
計	-	-	-	-	-	-	-	-	9		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	9人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医農融合公衆衛生学環>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	疫学概論	1前	3			1	1		1			
	保健行政概論	1前	1			3						4
	医学統計学概論	1前	1			2	3		1			1
	社会科学・行動科学概論	1前	1			3	1					3
	環境・食品衛生学概論	1前	1			5	2		1			
	小計(5科目)	—	7	0	0	12	5	0	2	0		8
発展科目	感染症・健康危機管理学	1前	1			1	1					4
	臨床疫学概論	1前		1		6	2					
	ヘルスデータサイエンス概論	1前		1		6	1					
	精神保健学概論	1前		1		2						2
	地域看護学Ⅰ特論	1後		1		1						
	地域看護学Ⅱ特論	1後		1		1						
	機能的食品開発論	1後		1		1						
	統計演習	1後	1			1	3		1			1
	疫学方法演習	1後	2			1	2		1			
	EBM演習	1後	1			1	2		1			
	保健所演習	2前		1			1					2
	地域医療学演習	2前		1		1						
小計(12科目)	—	5	8	0	14	5	0	1	0		7	
融合科目	医農融合公衆衛生学概論	1前	2			4	3					
	医農融合公衆衛生学演習	1後	4			4	3		1			1
	小計(2科目)	—	6	0	0	4	3	0	1	0		1
特別研究	実践研究	1後~2通年	8			19	7		1			
	小計(1科目)	—	8	0	0	19	7	0	1	0		0
合計(20科目)	—	26	8	0	21	8	0	2	0		12	

卒業要件及び履修方法

修了要件は医農融合公衆衛生学環に2年以上在学し、所定の単位30単位(基礎科目7単位、発展科目9単位、融合科目6単位、実践研究科目8単位)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文を在学期間中に提出して、その審査及び最終試験に合格した者とする。

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	疫学概論	1前	3			1	1					
	保健行政概論	1前	1			3						4
	医学統計学概論	1前	1				3	1				1
	社会科学・行動科学概論	1前	1			3	1					3
	環境・食品衛生学概論	1前	1			4	3			1		
	小計(5科目)	—	7	0	0	13	4	0	1	0		8
発展科目	感染症・健康危機管理学	1前	1			1	1					3
	臨床疫学概論	1前		1		6	2					
	ヘルスデータサイエンス概論	1前		1		6	1					
	精神保健学概論	1前		1		2						1
	地域看護学Ⅰ特論	1後		1		1						
	地域看護学Ⅱ特論	1後		1		1						
	機能的食品開発論	1後		1		1						
	統計演習	1後	1				3	2				1
	疫学方法演習	1後	2			1	2					
	EBM演習	1後	1			1	2					
	保健所演習	2前		1			1					2
	地域医療学演習	2前		1		1						
小計(12科目)	—	5	8	0	15	4	0	0	0		6	
融合科目	医農融合公衆衛生学概論	1前	2			4	3					
	医農融合公衆衛生学演習	1後	4			4	3					1
	小計(2科目)	—	6	0	0	4	3	0	0	0		1
特別研究	実践研究	1後~2通年	8			20	6			1		
	小計(1科目)	—	8	0	0	20	6	0	1	0		0
合計(20科目)	—	26	8	0	22	7	0	1	0		11	

卒業要件及び履修方法

修了要件は医農融合公衆衛生学環に2年以上在学し、所定の単位30単位(基礎科目7単位、発展科目9単位、融合科目6単位、実践研究科目8単位)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文を在学期間中に提出して、その審査及び最終試験に合格した者とする。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・ 教員辞任のため、「疫学概論」の専任教員の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・ 兼任・兼任教員の異動による講師変更のため、「保健行政概論」の兼任・兼任教員配置を「兼任・兼任教員4」から「兼任・兼任教員3」に変更。
- ・ 昇任・教員辞任により、「医学統計学概論」の専任教員の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授3」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・ 講義内容により別の准教授へ担当を変更したため、「環境・食品衛生学概論」の専任教員の配置を「教授5」から「教授4」、「准教授2」から「准教授3」に変更。
- ・ 兼任・兼任教員の異動による講師変更のため、「感染症・健康危機管理学」の兼任・兼任教員配置を「兼任・兼任教員4」から「兼任・兼任教員3」に変更。
- ・ 兼任・兼任教員の異動による講師変更のため、「精神保健学概論」兼任・兼任教員配置を「兼任・兼任教員2」から「兼任・兼任教員1」に変更。
- ・ 昇任・教員辞任により別の教授へ担当を変更したため、「統計演習」の専任教員の配置を「教授1」から「教授3」、「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・ 教員辞任により同じ講義を担当している教授へ担当を変更したため、「疫学方法演習」の専任教員の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・ 教員辞任により同じ講義を担当している教授へ担当を変更したため、「EBM演習」の専任教員の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・ 教員辞任により同じ講義を担当している教授へ担当を変更したため、「医農融合公衆衛生学演習」の専任教員の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・ 昇任のため、「実践研究」の専任教員の配置を「教授19」から「教授20」、「准教授7」から「准教授6」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
12 科目	8 科目	0 科目	20 科目	12 科目 [-]	8 科目 [-]	0 科目 [-]	20 科目 [-]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2		該当なし				
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2		該当なし				
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{20} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考						
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	建物を新営したことによるもの(4)						
	校舎敷地	321,266 316,958 m ²	0 m ²	0 m ²	321,266 316,958 m ²							
	運動場用地	79,745 m ²	0 m ²	0 m ²	79,745 m ²							
	小 計	401,011 396,703 m ²	0 m ²	0 m ²	401,011 396,703 m ²							
	そ の 他	4,257,149 4,261,457 m ²	0 m ²	0 m ²	4,257,149 4,261,457 m ²		建物を新営したことによるもの(4)					
	合 計	4,658,160 m ²	0 m ²	0 m ²	4,658,160 m ²							
(2) 校 舎	専 用	220,539 219,996 m ² (219,996 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	220,539 219,996 m ² (219,996 m ²)	建物を新営したことによるもの(4)						
	共 用											
(3) 教 室 等	講 義 室	1 3 2 1-2-7室	演 習 室	9 3 1-0-0室	実験実習室	5 5 8 5-6-1室	情報処理学習施設	3 2 2-7室 (補助職員 0人)	語学学習施設	9 5室 (補助職員 0人)	大学全体 施設整備によるもの(4)	
	新設学部等の名称		室 数		令和4年3月 専任教員1名退職のため(4)							
(4) 専任教員研究室	医農融合公衆衛生学環		30 31 室									
	(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点				
医農融合公衆衛生学環		1,124,011 [323,332] (1,127,466 1,124,011 [322,7653 23,332])	23,574 [7,712] (23,707 23,574 [7,781 7,712])	3,903 [2,347] (4,029-3,903 [2,415 2,347])	6,929 (6,978 6,929)	11,898 (12,269 11,898)	1 (1)	大学全体での共用部分を含む 施設整備によるもの(4)				
計		1,124,011 [323,332] (1,127,466 1,124,011 [322,7653 23,332])	23,574 [7,712] (23,707 23,574 [7,781 7,712])	3,903 [2,347] (4,029-3,903 [2,415 2,347])	6,929 (6,978 6,929)	11,898 (12,269 11,898)	1 (1)					
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数							
	10,615m ²		989		784,833		大学全体					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要									
	10,486m ²		武道場1、弓道場1、テニスコート22面、水泳プール4基									
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度				
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円				
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円					
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次					
		千円	千円	千円	千円	千円	千円					
	学生納付金以外の維持方法の概要											

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	愛媛大学						令和4年度 入学定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	開設 年度	所在地	備考
	既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号							
法文学部	4	365	3年次 30	1,520	-	1.02	1.03	-	昭	43	愛媛県松山市文 京町3番		
人文社会学科 昼間主コース	4	275	3年次 10	1,120	学士 (法学・教 育学・人文 学)	1.01	1.01	-	平	28	同上		
人文社会学科 夜間主コース	4	90	3年次 20	400	学士 (法学・教 育学・人文 学)	1.04	1.11	-	平	28	同上		
教育学部	4	160	-	640	-	1.03	1.03	-	昭	24	愛媛県松山市文 京町3番		
学校教育教員養成課程	4	160	-	640	学士 (教育学)	1.03	1.03	-	平	11	同上	令和2年度より入 学定員増(20)	
特別支援教育教員養成課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平	20	同上	令和2年度より学 生募集停止	
社会共創学部	4	180	-	720	-	1.04	1.03	-	平	28	愛媛県松山市文 京町3番		
産業マネジメント学科	4	70	-	280	学士 (社会共創 学)	1.05	1.00	-	平	28	同上		
産業イノベーション学科	4	25	-	100	学士 (社会共創 学)	1.03	1.08	-	平	28	同上		
環境デザイン学科	4	35	-	140	学士 (社会共創 学)	1.02	1.00	-	平	28	同上		
地域資源マネジメント学科	4	50	-	200	学士 (社会共創 学)	1.07	1.08	-	平	28	同上		
理学部	4	225	-	900	-	1.04	1.04	-	昭	43	愛媛県松山市文 京町2番5号		
理学科	4	225	-	900	学士 (理学)	1.04	1.04	平成31	平	31	同上	平成31年度より 学生募集停止	
数学科	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-	平	17	同上	平成31年度より 学生募集停止	
物理学科	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-	平	17	同上	平成31年度より 学生募集停止	
化学科	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-	平	17	同上	平成31年度より 学生募集停止	
生物学科	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-	平	17	同上	平成31年度より 学生募集停止	
地球科学科	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-	平	17	同上	平成31年度より 学生募集停止	
医学部	-	170	2年次 5 3年次 10	945	-	-	-	-	昭	48	愛媛県東温市志 津川454		
医学科	6	110	2年次 5	685	学士 (医学)	1.00	1.00	-	昭	48	同上		
看護学科	4	60	3年次 10	260	学士 (看護学)	1.00	1.00	-	平	6	同上		
工学部	4	500	3年次 10	2,020	-	1.01	1.00	-	昭	24	愛媛県松山市文 京町3番		
工学科	4	500	3年次 10	2,020	学士 (工学)	1.01	1.00	平成31	平	31	同上	平成31年度より 学生募集停止	
機械工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平	3	同上	平成31年度より 学生募集停止	
電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平	3	同上	平成31年度より 学生募集停止	
環境建設工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平	8	同上	平成31年度より 学生募集停止	
機能材料工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平	8	同上	平成31年度より 学生募集停止	
応用化学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平	3	同上	平成31年度より 学生募集停止	
情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平	3	同上	平成31年度より 学生募集停止	
農学部	4	170	3年次 10	700	-	1.05	1.06	-	昭	29	愛媛県松山市榊 味3丁目5番7 号		
食料生産学科	4	70	3年次 5	290	学士 (農学)	1.06	1.08	-	平	28	同上		
生命機能学科	4	45	3年次 2	184	学士 (農学)	1.04	1.02	-	平	28	同上		
生物環境学科	4	55	3年次 3	226	学士 (農学)	1.04	1.07	-	平	28	同上		

大学全体	-	1,770	2年次 5 3年次 60	7,445	-	-	-	-	-	-
------	---	-------	-----------------------	-------	---	---	---	---	---	---

大学の名称	愛媛大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.0倍以上の学科数	5	備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
人文社会科学研究科 (修士課程)	2	20	-	40	-	-	-	-	-	令和2	愛媛県松山市文京町3番
法文学専攻	2	12	-	24	修士 (法学、人文学)	0.53	0.66	-	-	令和2	同上
産業システム創成専攻	2	8	-	16	修士 (経済学、学術)	1.00	1.00	-	-	令和2	同上
教育学研究科 (修士課程)	2	50	-	100	-	-	-	-	-	平成5	愛媛県松山市文京町3番
心理発達臨床専攻 (専門職学位課程)	2	10	-	20	修士 (臨床心理学)	0.95	1.10	-	-	令和2	同上
教育実践高度化専攻	2	40	-	80	教職修士 (専門職)	1.01	0.90	-	-	令和2	同上
医学系研究科 (博士課程)	-	44	-	150	-	-	-	-	-	平成10	愛媛県東温市志津川454
医学専攻 (博士前期課程)	4	30	-	120	博士 (医学)	1.10	0.83	-	-	平成18	同上
看護学専攻 (博士後期課程)	2	12	-	24	修士 (看護学)	0.59	0.60	-	-	平成10	同上
看護学専攻	3	2	-	6	博士 (看護学)	1.50	1.50	令和2	令和2	令和2	同上
理工学研究科 (博士前期課程)	-	273	-	569	-	-	-	-	-	平成8	愛媛県松山市文京町3番
生産環境工学専攻	2	62	-	124	修士 (工学)	1.14	1.12	-	-	平成18	同上
物質生命工学専攻	2	61	-	122	修士 (工学)	1.14	1.14	-	-	平成18	同上
電子情報工学専攻	2	59	-	118	修士 (工学)	1.03	1.06	-	-	平成18	同上
数理物質科学専攻	2	40	-	80	修士 (理学)	0.83	0.85	-	-	平成18	同上
環境機能科学専攻 (博士後期課程)	2	28	-	56	修士 (理学)	0.92	0.92	-	-	平成18	同上
生産環境工学専攻	3	6	-	18	博士 (工学)	0.88	0.83	-	-	平成18	同上
物質生命工学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.66	1.00	-	-	平成18	同上
電子情報工学専攻	3	4	-	12	博士 (工学)	0.16	0.00	-	-	平成18	同上
数理物質科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学)	1.75	2.00	-	-	平成18	同上
環境機能科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学)	0.58	0.00	-	-	平成18	同上
農学研究科 (修士課程)	2	72	-	144	-	-	-	-	-	昭和42	愛媛県松山市榊味3丁目5番7号
食料生産学専攻	2	26	-	52	修士 (農学)	0.61	0.88	-	-	平成28	同上
生命機能学専攻	2	23	-	46	修士 (農学)	1.01	0.95	-	-	平成28	同上
生物環境学専攻	2	23	-	46	修士 (農学)	0.67	0.52	-	-	平成28	同上

連合農学研究科 (博士課程)	3	17	-	51	-	-	-	-	昭和60	愛媛県松山市樽味3丁目5番7号
生物資源生産学専攻	3	9	-	27	博士 (農学、学術)	0.69	0.77	-	昭和60	同上
生物資源利用学専攻	3	4	-	12	博士 (農学、学術)	2.08	0.50	-	昭和60	同上
生物環境保全学専攻	3	4	-	12	博士 (農学、学術)	1.91	0.50	-	昭和60	同上
研究科等連係課程実施基本組織 (修士課程)										
医農融合公衆衛生学環	2	5	-	10	修士 (公衆衛生学)	1.80	1.80	-	令和4	愛媛県東温市志津川454
大学院全体	-	476	-	1,054	-	-	-	-	-	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<医農融合公衆衛生学環>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	三宅 吉博 <令和4年4月> 博士(医学)
		疫学概論※ 社会科学・行動科学概論※ 環境・食品衛生学概論※ 臨床疫学概論※ ヘルスデータサイエンス概論※ 精神保健学概論※ 疫学方法演習※ EBM演習※ 医農融合公衆衛生学概論※ 医農融合公衆衛生学演習※ 実践研究
専	教授	川本 龍一 <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床疫学概論※ 地域医療学演習 実践研究
専	教授	薬師神 芳洋 <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床疫学概論※ 実践研究
専	教授	杉山 隆 <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床疫学概論※ 実践研究

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	三宅 吉博 <令和4年4月> 博士(医学)
		疫学概論※ 社会科学・行動科学概論※ 臨床疫学概論※ ヘルスデータサイエンス概論※ 統計演習※ 精神保健学概論※ 疫学方法演習※ EBM演習※ 医農融合公衆衛生学概論※ 医農融合公衆衛生学演習※ 実践研究
専	教授	川本 龍一 <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床疫学概論※ 地域医療学演習 実践研究
専	教授	薬師神 芳洋 <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床疫学概論※ 実践研究
専	教授	杉山 隆 <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床疫学概論※ 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	羽藤 直人 <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床疫学概論※ 実践研究
専	教授	山口 修 <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床疫学概論※ 実践研究
専	教授	木村 映善 <令和4年4月> 博士(医学)
		医学統計学概論※ ヘルスデータサイエンス概論※ 統計演習※ 実践研究
専	教授	城戸 輝仁 <令和4年4月> 博士(医学)
		医学統計学概論※ ヘルスデータサイエンス概論※ 実践研究
専	教授	上野 修一 <令和4年4月> 博士(医学)
		社会科学・行動科学概論※ 精神保健学概論※ 実践研究
専	教授	浅野 水辺 <令和4年4月> 博士(医学)
		社会科学・行動科学概論※ 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	羽藤 直人 <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床疫学概論※ 実践研究
専	教授	山口 修 <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床疫学概論※ 実践研究
専	教授	木村 映善 <令和4年4月> 博士(医学)
		医学統計学概論※ ヘルスデータサイエンス概論※ 統計演習※ 実践研究
専	教授	城戸 輝仁 <令和4年4月> 博士(医学)
		医学統計学概論※ ヘルスデータサイエンス概論※ 実践研究
専	教授	上野 修一 <令和4年4月> 博士(医学)
		社会科学・行動科学概論※ 精神保健学概論※ 実践研究
専	教授	浅野 水辺 <令和4年4月> 博士(医学)
		社会科学・行動科学概論※ 実践研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西嶋 真理子 ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		保健行政概論※ ヘルスデータサイエンス概論※ 地域看護学Ⅰ特論※ 実践研究
専	教授	藤村 一美 ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		保健行政概論※ ヘルスデータサイエンス概論※ 地域看護学Ⅱ特論※ 実践研究
専	教授	谷向 知 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		保健行政概論※ ヘルスデータサイエンス概論※
専	教授	荒木 卓哉 ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		医農融合公衆衛生学概論※ 医農融合公衆衛生学演習※ 実践研究
専	教授	岸田 太郎 ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		医農融合公衆衛生学概論※ 医農融合公衆衛生学演習※ 実践研究
専	教授	菅原 卓也 ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		機能的食品開発論 医農融合公衆衛生学概論※ 医農融合公衆衛生学演習※ 実践研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西嶋 真理子 ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		保健行政概論※ ヘルスデータサイエンス概論※ 地域看護学Ⅰ特論※ 実践研究
専	教授	藤村 一美 ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		保健行政概論※ ヘルスデータサイエンス概論※ 地域看護学Ⅱ特論※ 実践研究
専	教授	谷向 知 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		保健行政概論※ ヘルスデータサイエンス概論※
専	教授	荒木 卓哉 ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		医農融合公衆衛生学概論※ 医農融合公衆衛生学演習※ 実践研究
専	教授	岸田 太郎 ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		医農融合公衆衛生学概論※ 医農融合公衆衛生学演習※ 実践研究
専	教授	菅原 卓也 ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		機能的食品開発論 医農融合公衆衛生学概論※ 医農融合公衆衛生学演習※ 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	治多 伸介 ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		環境・食品衛生学概論※ 実践研究
専	教授	鑓迫 典久 ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		環境・食品衛生学概論※ 実践研究
専	教授	高橋 真 ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		環境・食品衛生学概論※ 実践研究
専	教授	西脇 寿 ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		環境・食品衛生学概論※ 実践研究
専	教授	山下 尚之 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		感染症・健康危機管理学※
専	准教授	田中 景子 ＜令和4年4月＞ 博士(医学) 博士(歯学)
		疫学概論※ 医学統計学概論※ 社会科学・行動科学概論※ 臨床疫学概論※ ヘルスデータサイエンス概論※ 統計演習※ 疫学方法演習※ EBM演習※ 保健所演習※ 医農融合公衆衛生学概論※ 医農融合公衆衛生学演習※ 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	治多 伸介 ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		環境・食品衛生学概論※ 実践研究
専	教授	鑓迫 典久 ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		環境・食品衛生学概論※ 実践研究
専	教授	高橋 真 ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		環境・食品衛生学概論※ 実践研究
専	教授	西脇 寿 ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		環境・食品衛生学概論※ 実践研究
専	教授	山下 尚之 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		感染症・健康危機管理学※
専	准教授	田中 景子 ＜令和4年4月＞ 博士(医学) 博士(歯学)
		疫学概論※ 社会科学・行動科学概論※ 臨床疫学概論※ ヘルスデータサイエンス概論※ 統計演習※ 疫学方法演習※ EBM演習※ 保健所演習※ 医農融合公衆衛生学概論※ 医農融合公衆衛生学演習※ 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	永井 将弘 <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床疫学概論※ 実践研究
専	准教授	田内 久道 <令和4年4月> 博士(医学)
		感染症・健康危機管理学※
専	准教授	橘 哲也 <令和4年4月> 博士(農学)
		医学統計学概論※ 統計演習※ 実践研究
専	准教授	丸山 広達 <令和4年4月> 博士(医学)
		医学統計学概論※ 統計演習※ 疫学方法演習※ EBM演習※ 医農融合公衆衛生学概論※ 医農融合公衆衛生学演習※ 実践研究
専	准教授	西 甲介 <令和4年4月> 博士(農学)
		医農融合公衆衛生学概論※ 医農融合公衆衛生学演習※ 実践研究
専	准教授	石橋 弘志 <令和4年4月> 博士(学術)
		環境・食品衛生学概論※ 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	永井 将弘 <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床疫学概論※ 実践研究
専	准教授	田内 久道 <令和4年4月> 博士(医学)
		感染症・健康危機管理学※
専	教授	橘 哲也 <令和4年4月> 博士(農学)
		医学統計学概論※ 統計演習※ 実践研究
専	准教授	丸山 広達 <令和4年4月> 博士(医学)
		医学統計学概論※ 環境・食品衛生学概論※ 統計演習※ 疫学方法演習※ EBM演習※ 医農融合公衆衛生学概論※ 医農融合公衆衛生学演習※ 実践研究
専	准教授	西 甲介 <令和4年4月> 博士(農学)
		医農融合公衆衛生学概論※ 医農融合公衆衛生学演習※ 実践研究
専	准教授	石橋 弘志 <令和4年4月> 博士(学術)
		環境・食品衛生学概論※ 実践研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	水川 葉月 <令和4年4月> 博士(理学)
		環境・食品衛生学概論※ 実践研究
専	助教	時信 亜希子 <令和4年4月> 博士(医学)
		疫学概論※ 医学統計学概論※ 統計演習※ 疫学方法演習※ EBM演習※ 医農融合公衆衛生学演習※
専	助教	丸山 雅史 <令和4年4月> 博士(農学)
		環境・食品衛生学概論※ 実践研究
兼任	教授	加藤 匡宏 <令和4年4月> 博士(医学)
		社会科学・行動科学概論※
兼任	准教授	間々田 理彦 <令和4年4月> 博士(農業経済学)
		社会科学・行動科学概論※
兼任	講師	石野 智子 <令和4年4月> 博士(薬学) 博士(医学)
		感染症・健康危機管理学※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	水川 葉月 <令和4年4月> 博士(理学)
		環境・食品衛生学概論※ 実践研究
専	助教	丸山 雅史 <令和4年4月> 博士(農学)
		環境・食品衛生学概論※ 実践研究
兼任	教授	加藤 匡宏 <令和4年4月> 博士(医学)
		社会科学・行動科学概論※
兼任	准教授	間々田 理彦 <令和4年4月> 博士(農業経済学)
		社会科学・行動科学概論※
兼任	講師	石野 智子 <令和4年4月> 博士(薬学) 博士(医学)
		感染症・健康危機管理学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	河野 英明 ＜令和4年4月＞ 学士(医学)
		保健行政概論※
兼任	講師	四宮 博人 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		感染症・健康危機管理学※
兼任	講師	三木 優子 ＜令和4年4月＞ 学士(医学)
		保健行政概論※ 感染症・健康危機管理学※ 保健所演習※
兼任	講師	廣瀬 浩美 ＜令和4年4月＞ 学士(医学)
		保健行政概論※ 感染症・健康危機管理学※ 保健所演習※
兼任	講師	竹之内 直人 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		精神保健学概論※
兼任	講師	石丸 文至 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		保健行政概論※
兼任	講師	徳永 章二 ＜令和4年4月＞ 博士(理学) 博士(医学)
		医学統計学概論※ 統計演習※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	河野 英明 ＜令和4年4月＞ 学士(医学)
		保健行政概論※
兼任	講師	四宮 博人 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		感染症・健康危機管理学※
兼任	講師	石丸 文至 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		保健行政概論※
兼任	講師	徳永 章二 ＜令和4年4月＞ 博士(理学) 博士(医学)
		医学統計学概論※ 統計演習※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	藤井 千代 <令和4年4月> 博士(医学)
		社会科学・行動科学概論※ 精神保健学概論※
兼任	講師	大久保 公美 <令和4年4月> 博士(保健学)
		医農融合公衆衛生学演習※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	藤井 千代 <令和4年4月> 博士(医学)
		社会科学・行動科学概論※ 精神保健学概論※
兼任	講師	大久保 公美 <令和4年4月> 博士(保健学)
		医農融合公衆衛生学演習※
兼任	講師	岡田 克俊 <令和4年4月> 博士(医学)
		保健行政概論※ 感染症・健康危機管理学※ 保健所演習※
兼任	講師	竹内 豊 <令和4年4月> 学士(医学)
		保健行政概論※ 保健所演習※

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

--

【令和4年度】

<ul style="list-style-type: none">・ 講義内容の観点から、三宅吉博教授の担当講義を丸山広達准教授に変更したことより、三宅吉博教授の「環境・食品衛生学概論」を削除し、丸山広達准教授に追加。・ 講義内容の観点から、田中景子准教授の担当講義を丸山広達准教授に変更したことより、田中景子准教授の「医学統計学概論」を削除。・ 橋哲也准教授昇任のため、「教授」に変更。・ 時信亜希子助教辞任のため、削除・ 時信亜希子助教辞任のため、担当講義を三宅吉博教授に変更したことにより、三宅吉博教授に「統計演習」を追加。・ 三木優子講師、廣瀬浩美講師が異動のため削除、後任の岡田克俊講師、竹内豊講師を追加。なお、変更後は岡田克俊講師が「保健行政概論」、「感染症・健康危機管理学」「保健所演習」を担当し、竹内豊講師が「保健行政概論」「保健所演習」を担当する。・ 竹之内直人講師が定年退職のため削除、「精神保健学概論」の講義については同講義を担当している三宅教授、藤井講師に変更。
--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
6	4	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
21	8	0	2	31	0	22	7	0	1	30	0
(22)	(7)	(0)	(1)	(30)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
30	1	0				30	0	0			
(30)	(0)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
22	7	0	1	30	0	22	9	0	2	33	0
[1]	[Δ1]	[0]	[Δ1]	[Δ1]	[0]	[1]	[1]	[0]	[0]	[2]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
30	0	0				32	1	0			
[0]	[Δ1]	[0]				[2]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{30}{31} = \boxed{96.77} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{30} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	助教	時信 亜希子	R4.3	必修	疫学概論	①	R4.3.31付け一身上の都合のため就任辞退(4)			
				必修	医学統計学概論	①				
				必修	統計演習	①				
				必修	疫学方法演習	①				
				必修	EBM演習	①				
				必修	医農聯合公衆衛生学演習	①				
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
1	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{31} = 3.22\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

同科目を共同で担当している別の専任教員に辞任者の講義を担当してもらうとともに、事前に担当教員を変更した講義予定表で学生に周知していたため、履修等への影響はないと考えている。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医農融合公衆衛生学環>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学環委員会が主体となり、教員の資質の維持向上に取り組んでいる。

愛媛大学大学院医農融合公衆衛生学環委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、愛媛大学大学院学環委員会規程第4条第3項の規定に基づき、愛媛大学大学院医農融合公衆衛生学環（以下「学環」という。）に設置される委員会（以下「学環委員会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 学環委員会は、次に掲げる構成員をもって組織する。

- (1) 学環長
- (2) 副学環長
- (3) 学環の教授（学環に係る連係協力研究科の教授が兼務する場合を含む。）
（専任の教授以外の構成員）

第3条 学環委員会が必要と認める場合には、前条の専任の教授以外の教員を当該学環委員会の構成員とすることができる。

(審議事項)

第4条 学環委員会は、次の各号に掲げる事項について、学長が決定を行うに当たり意見を述べるために審議する。

- (1) 学生の入学、修了及び学位の授与に関する事項
- (2) 学生の懲戒に関する事項
- 2 学環委員会は、前項に掲げるもののほか、教育研究に関する重要事項で、学環の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める次の各号に掲げる事項について、学長が決定を行うに当たり意見を述べるために審議する。
 - (1) 長期的な目標、中期目標・中期計画に関する事項
 - (2) 諸規則の制定又は改廃に関する事項
 - (3) 予算の作成及び執行並びに決算に関する事項
 - (4) 教員の採用及び昇任のための選考に関する事項
 - (5) 教育課程の編成に関する事項
 - (6) 学生の円滑な修学等を支援するために必要な助言、指導その他の援助に関する事項
 - (7) 前項第1号に定めるもののほか学生の在籍に関する事項
 - (8) 教育及び研究の状況について自ら行う点検及び評価に関する事項

3 学環委員会は、前2項に規定するもののほか、学長及び学環長（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

(議長等)

第5条 学環長は、学環委員会の議長となる。

- 2 議長は、学環委員会を主宰する。
- 3 学環長に事故があるときは、学環長があらかじめ指名する者が議長の職務を代行する。
- 4 学環委員会の議事及び運営の方法については、法令、学内諸規則及びこの規程に定めるもののほか、当該学環委員会が定める。（議事等）

第6条 学環委員会は、構成員の3分の2以上の出席がなければ議事を開き審議することができない。

2 議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。ただし、学位論文の審査及び最終試験又は試問の可否決定については、出席者の3分の2以上の賛成がなければならない。

3 休職、出勤停止、停職、育児休業、介護休業及び病気休暇中の者並びに海外渡航（私事を除く。）のため本務地を離れる者は、第1項の構成員から除くものとする。

(会議)

第7条 学環委員会に、学環の円滑な運営を図るため、愛媛大学大学院医農融合公衆衛生学環戦略会議（以下「戦略会議」という。）を置く。

- 2 学環委員会は、教育研究に関する重要事項について、戦略会議で審議及び報告させるものとする。
- 3 戦略会議に関し、必要な事項は別に定める。

(委員会)

第8条 学環委員会に、学環に係る審議事項についてあらかじめ調整するため、各種委員会を置くことができる。

2 各種委員会に関し、必要な事項は別に定める。

(構成員以外の出席)

第9条 議長が必要と認めるときは、構成員以外の者を学環委員会に出席させることができる。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、議事及び運営に関し、必要な事項は、学環委員会が定める。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和3年度は前身の「公衆衛生学環設置準備室企画運営委員会」として、9月から開始し5回開催した（参加状況：平均20.8名/24名）。

c 委員会の審議事項等

公衆衛生学環設置準備室企画運営委員会（学務委員会の前身）は以下に定める事項を審議した。

- ・ 教育課程に関すること。
- ・ 授業計画に関すること。
- ・ 教務関係行事日程に関すること。
- ・ 非常勤講師に関すること。
- ・ 学生の履修指導に関すること。
- ・ 学生の修学に関すること。
- ・ その他教務に関すること。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ FD研修会（令和4年3月17日開催） 参加人数 教員3名
「修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ（M-GTA）について」
- ・ 教育コーディネーター研修会3回「アセスメントプランについて」
（令和3年9月29日開催＜参加人数：教員4名＞、11月15日開催＜参加人数：教員3名＞、
令和4年3月8日開催＜参加人数：教員5名＞）
- ・ 教職員能力開発拠点及びSPOD主催研修プログラム
SPODフォーラム2021（令和3年8月25日～27日開催） 参加人数 教員1名
「大学から地域の元気を応援する取組～地域連携の種まき実践例～」
「オンライン授業でアクティブラーニングに挑戦しよう」
「シンポジウム コロナ後の世界/大学教育はどう変わっていくか？」
「地域連携担当者のための合意形成術講座」
「Blended Learningで活用できるグループワークのアイデア」
学習評価の基本（令和3年度5月21日～6月21日開催） 参加人数 教員1名
教職員のための学習支援入門セミナー（令和4年2月4日～3月4日開催） 参加人数 教員1名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ FD研修会のテーマであった修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ（M-GTA）については、学環の学生の実践研究に活用予定である。
- ・ 教育コーディネーター研修会のテーマであったアセスメントプランに関しては、学生の学修成果の評価等に活用を検討している。
- ・ 教職員能力開発拠点及びSPOD主催研修プログラムは、学環の学生の通常講義、コロナ下での講義や実践研究に活用している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業改善のためのアンケートについては、修学支援システム（Webサイト）を利用したアンケートを実施する予定である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業及び到達度評価のアンケート結果については、看護学専攻学務委員会で共有し、課題の抽出や解決方法の検討を行っており、必要時、授業担当教員にフィードバックし、授業改善に活用する予定である。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし。

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の計画どおりの授業科目で開講する予定である。新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、当初より遠隔授業で行う講義もあることから、eラーニング教材の提供やメールの活用すべく準備を整えており、学生の学修機会の確保はできていることから、設置の趣旨・目的は達成できると判断している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和4年7月頃 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・令和3年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けたため、令和10年度までに受審を予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。